

SCHOOL PROGRAM REPORT 2017 SCHOOL PROGRAM REPORT 2017

平成29年度 高知県立美術館
スクール・プログラム報告書

平成29年度 高知県立美術館
スクール・プログラム報告書

平成29年度 高知県立美術館スクール・プログラムについて

高知県立美術館では、平成27年度に、学校と美術館が連携して行う様々な活動を《スクール・プログラム》という名称に統括し、計画的かつ総合的な事業に発展させることを目指して取り組んでいます。

このスクール・プログラムの柱の一つである「学校から来てもらう事業」の美術体験・美術館体験プログラムでは、各学校や施設の担当者と事前に打合せを行い、児童生徒の実態や発達段階、学習の目的などに応じた鑑賞プログラムを実施しています。子どもたちが、実作品と出合うことで沸きおこる感情や思考を大切にしたい対話形式の鑑賞活動となるよう、コミュニケーションが取りやすい小グループでの実施を心掛けています。

また、美術館が往復の貸し切りバスをチャーターすることで、学校と美術館の物理的な距離を埋める「ミュージアムバス・ツアー」事業も4年目を迎えており、この間、これまで来館が無かった遠隔地や中山間地等の学校の利用が増えています。

スクール・プログラムのもう一つの柱は、「学校に向く事業」です。開館以来、美術館では、美術、演劇、音楽、映画など、幅広いジャンルのアートを紹介、発信してきました。その特徴を活かして、美術館が学校などへ出向いて行うアウトリーチ活動として多様なプログラムを展開しています。アーティストが演奏やパフォーマンスを行う出前教室は、プロのアーティストとの交流や表現活動を間近で体感できる場として好評です。一方、利用が減少傾向にある出前びじゅつ講座は、鑑賞ツールの工夫やアーティストとの協働など、生の表現活動を体験できるようなプログラムへの転換を探り、新たな利用につなげていきたいと思えます。

スクール・プログラムは、事業の周知、受入体制やプログラム内容など、まだまだ課題があります。地域や学校の実情、授業方針などのリサーチや事業実施後のフィードバックをさらに重ねることで、利用しやすい、利用しなくなる事業を目指してまいります。

地図でみる利用状況



高知県内の公立小・中学校数(平成29年度)

	小学校	中学校	義務教育学校	合計
市町村(学校組合)立	192	101	2	295
県立		3		3
国立	1	1		2
	193	105	2	300

小・中学校の美術館利用実績(平成24～29年)

	平成25年	26年	27年	28年	29年
来館利用	55件 1,722人	27件 1,155人	53件 2,141人	47件 2,520人	30件 1,371人
来館利用(私学)	38件 1,057人	15件 311人	26件 1,088人	8件 296人	8件 207人
来館利用(高知市立)	11件 522人	5件 399人	9件 638人	12件 1,084人	7件 714人
出前びじゅつ講座	3件 92人	4件 93人	11件 565人	8件 460人	4件 330人
出前びじゅつ講座(高知市立)	0件 0人	0件 0人	1件 160人	4件 287人	2件 279人

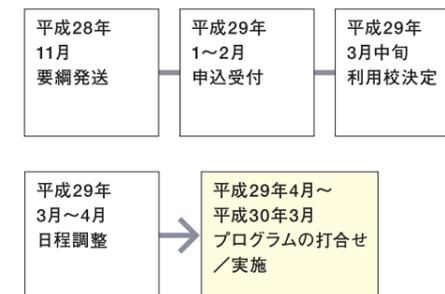
スクール・プログラム 1

来館(学校→美術館)事業

1 ミュージアムバス・ツアー

県内の全公立小・中学校を対象に利用校の募集を行い、2月末の締切日までに6校の小中学校より申込があった。過去5年間の利用がなかった地域や学校を優先に選考し、その結果、小学校3校、中学校1校の来館を決定した。本年度は、生徒数の多い学校の受入のため、対応スタッフの確保とともに、プログラムの工夫が課題となった。

平成29年度ミュージアムバス・ツアーのスケジュール



館内作品



フェルナンド・ボテロ《鏡をもつ女》



若林奮《石枕》



ニコラ・デ・マリア《グロリア》



和田守卓良《CHI-ZA》



フランク・ステラ《ピークオド号、薔薇薔号に遭う》

5月16日[火]
いの町立伊野南中学校
1年生22人、2年生28人、3年生24人

●目的

全校の校外学習として来館。展覧会をグループ単位で鑑賞し、文化・芸術に親しむとともに、クラスメートとのコミュニケーションを図る。

●スケジュール

9:00 来館、美術館ホールへご案内。オリエンテーション。(当日スケジュール、館内ルールの確認)

9:30 各学年に分かれ、担当教諭が引率して展示室へ移動。「これぞ暁斎！」第1会場、「これぞ暁斎！」第2会場、第4展示室「絵金展」の3会場を鑑賞。各会場では学芸員が解説を行った後、グループワークを行った。

10:50 美術館ホールに集合、あいさつ。

11:00 美術館出発。その後、牧野植物園、高知県立高知城歴史博物館を見学。

●先生の感想

・価値の高い作品に触れることができたことに加え、解説を行っていただいたので楽しく鑑賞できた。
・内容がとても良く、生徒は興味津々で楽しんでた。

●児童・生徒の感想

・絵の描き方を調べていたら時間がなくなり、あまり作品を見られなかったのが、また行きたいと思う。
・自分の見たことのない世界がたくさんあった。
・何度も美術館に行ったことはあったが、行くたびに面白い。また行きたい。
・作者によって表現の仕方が変わっていて、「こんなやり方もあるんだ！」と何回も思った。
・結構見たいものがあったので、もっとおきたかった。一人で来たかったと少し思った。
・作者によって筆のタッチや作品の雰囲気や全く違って、それぞれの世界観に引込まれた。
・多分、友達同士で行くことはなかったと思うので、全校で行ける機会があってよかった。

●成果・課題

下見を含め、担当教諭が打合せのための時間を十分に割いてくださったことが有難かった。事後学習として行われた「お薦めの逸品」のレポートは、各自が気になった作品を自分の言葉で表現している点に驚かされた。後日、高知新聞の「学校特派員だより」(2017年9月1日付)に今回の校外学習について記事を寄せていただく等、学

校全体の取組みに関われたことが励みになった。



まずは作品解説

グループで相談しながら鑑賞

11月17日[金]
高知市立春野東小学校
5年生99人

●目的

公共施設でのマナーを身につける。
「美術館ってどんなところ? すてきポイントを見つけよう」

●スケジュール

9:30 来館、美術館ホールへご案内。オリエンテーション。(当日スケジュール、館内ルールの確認)

10:00 3グループに分かれてツアー開始。マルク・シャガールと石元泰博作品を企画展示室で公開する「高知県立美術館二大コレクション展」第1会場、第2会場、第4展示室の「高知の洋画展」、館内作品のフェルナンド・ボテロ《鏡をもつ女》を鑑賞。バックヤードとして、運搬用エレベーター、搬入口、防災センターを見学。

11:30 美術館ホールに集合、挨拶。牧野植物園へ出発。

●先生の感想

・事前授業として「出前びじゅつ講座」を行っていただいたことで、子どもたちは美術館を身近に感じられ、見学に行くのを楽しみにすることができた。
・たくさんの絵画を見たり、普段見ることのできない場所を見せてもらうことで、一人ひとりが作品を通して感じたり様々な発見があった。美術館に行くことが初めてだった子どもたちには驚きもたくさんあった。事前授業で見た作品を見つけることも楽しかったようだ。

●児童・生徒の感想

・事前授業の写真では寝ている女の人のしか見えなかった《鏡をもつ女》が、実物はとても大きく、手に鏡を持っていて、自分の想像をはるかにこえていてびっくりした。顔を横にして鏡を持っていたので、髪を整えていたのかな、と思った。
・美術館はすごいなあと思うことがとても多かった。これまで、絵をじっくり見ることがほとんどなかったので、行けてとてもよかった。
・前にイベントで行った時、美術館の一部の場所だけで、展示されて

いる絵などを見に行っただけでなかったから、今回の見学でいろいろなことを発見することができた。

・車庫や作品を乗せたりするエレベーターがあった場所が一番良かった。普段は美術館に行かないから、作品がどうやって運搬されるかなど考えたことはなく、わからないことが多かったけど、その部屋を見ただけでしくみなどがすぐわかった。監視をしているカメラの映像を管理している部屋は、作品のことやお客さんのことを考えて安全に作品を楽しめるようにしていたので、良いしくみだと思った。

・事前授業で見て楽しみにしていたシャガールの絵が見られて良かった。写真で見るとより迫力があって、思っていたよりも大きな絵だったのでびっくりした。木についていたものはリンゴか花だと思っていたけど、実物はすごくきれいでバラみたいだった。通路にも美術作品が隠れていて、移動するときにも楽しめた。エレベーターもすごく大きく、5年生が全員乗っても大丈夫なくらいだった。

●成果・課題

・来館直前の「出前びじゅつ講座」が、美術館や鑑賞に対する苦手意識を取り除き、来館への期待感につながった。アウトリーチと来館プログラムの相乗効果を感じられた。
・限られた授業数の中、事前授業として「出前びじゅつ講座」を受け入れていただけたことは大変有難かった。大規模校は、「出前びじゅつ講座」に限らず、館内マナーや展示作品について事前に授業に取り上げていただくことが集中力につながることを実感した。



学年全員が乗れる程大きなエレベーター

作品を側面から見てみる

11月21日[火]
土佐市立北原小学校
4年生8人、5年生14人、6年生8人

●目的

・美術館や学芸員の仕事について学ぶ。
・石元泰博作品を中心に鑑賞し、郷土作家について学ぶ。

●スケジュール

9:00 来館、講義室へご案内。オリエンテーション。(当日スケジュール、館内ルールの確認)

10:00 3グループに分かれてツアー開始。マルク・シャガールと石元泰博作品を企画展示室で公開する「高知県立美術館二

大コレクション展」第1会場、第2会場、第4展示室の「高知の洋画展」、館内作品のフェルナンド・ボテロ《鏡をもつ女》を鑑賞。バックヤードとして、運搬用エレベーターを使用して搬入口、防災センターを見学。

11:45 講義室に集合。

12:00 美術館を出発、高知県立高知城歴史博物館へ移動。

●先生の感想

・ミュージアムバスツアーは、交通の便の良い学校にとって大変ありがたく、子どもたちの感性を育てるのに効果もあり、有意義な活動だと思う。このことを広く他校の先生にも伝え、ぜひ活用して欲しい。
・本物に触れるこのような企画のことを広報誌等でPRして欲しい。

●児童・生徒の感想

・マルク・シャガールの絵が心に残った。97才まで生きていて、もうおじいちゃんなのに絵を描き続けたので、ほくも長生きしてやりたいことを続けていきたいと思った。
・美術館には、展示室以外にも作品があって、いろいろ仕掛けがあっておもしろいなと思った。
・石元さんの写真は白黒ばかりで、白と黒にこだわっているのだな、と思った。
・シャガールが描いた《空を駆ける口バ》などが、とても幸せそうに見えてよかった。

●成果・課題

・土佐市の学校のため、石元フォトセンターのスクール・プログラムに該当するところ、対象外の学年のため、本事業での来館となる。保育園の来館や石元フォトセンター関連で、他地域より来館の機会に恵まれていると思われた土佐市の子どもたちではあるが、機会を逃している学年は多い。臨機応変に対応していきたい。



館内作品を楽しむ

搬入口のシャッターを開く

3月2日[金]
土佐清水市立中浜小学校
1年生1人、4年生4人、5年生5人、6年生2人

●目的

来年度から休校となるため、最後の遠足に全校で来館。高知市まで片道3時間かかり美術館や美術に親しみにくい環境にあるので、施設に親しみ、いろいろな作品を鑑賞したい。

●スケジュール

- 11:00 来館、創作室へご案内。オリエンテーション。(当日スケジュール、館内での注意事項の確認)
- 11:10 バックヤードツアーとして、エレベーター、搬入口、防災センターを見学。《CHI-ZA》《鏡をもつ女》「石元泰博展」「シャガール展」企画展「岡上淑子コラージュ展」を鑑賞後、こども県展鑑賞。
- 12:00 昼食。
- 13:00 高知県庁へ出発。

●先生の感想

遠方のため時間が限られたが、コラージュ体験ができていたら、より記憶に残る美術館体験になったかも知れない。网上展を子どもたちは、楽しんでくれるだろうかと思っていたが、感想を見ると、意外に興味を示していた。解説を聞きながら鑑賞している児童の反応が良いように思われた。

●成果・課題

長時間の移動時間に関わらず、疲労の様子も見せず、子どもたちは元気に作品を鑑賞。落ち着いて作品を見て、感じたことを素直に表現できていた。学年を超えて仲が良く、小規模校の良さが感じられた。来館経験の少ない子どもたちに美術館を紹介できたことは、本事業の目的の一つでもあり、大きな成果である。



休校前の全校遠足



展示会もみんなで

2 学校団体利用

図画工作や美術の授業、社会科見学、校外学習など、各学校と連携して、来館目的や児童・生徒に合った鑑賞プログラムを実施した。また、事前予約により鑑賞前に10分程度の前説を積極的に行った。

利用校／高知市立介良中学校、日高村佐川町立加茂中学校、明德義塾中学・高等学校、土佐塾高等学校、宿毛市立片島中学校、高知高等学院、小豆島市立小豆島中学校、高知市立潮江南小学校、高知市立一宮中学校、高知市立大津中学校、清和女子高等学校、田野町立田野中学校、高知市立鏡小学校、高知県立若草養護学校中中学部、安芸市立下山小学校、安田町立安田小学校、四万十町立窪川中学校(計17校)

●成果・課題

実績数はほとんど変わらないが、新規の利用校が増えてきたことは成果である。一方、大規模校の受入の際、対応スタッフや集合場所の確保の難しさに直面した。毎年、県民ギャラリーで開催される高知県美術教育総合文化展やこども県展に来館する小中学校のなかには、他の展示室を鑑賞せず帰校する学校は少なくない。そのような学校に少しでも館内作品の鑑賞や、スクール・プログラムを利用していただくことが大きな課題である。



ワークシートを記入しながら(介良中学校)



次は牧野植物園へ(介良中学校)



館内作品にも注目(加茂中学校)



作品をみながら…(加茂中学校)



視線を変えて(鏡小学校)



こども県展と企画展も鑑賞(安田小学校)

3 その他

保育園・幼稚園の団体利用

今年度は土佐市内の保育園と、高知大学教育学部附属幼稚園の就学直前の園児を対象に鑑賞プログラムを行った。土佐市の保育園は、館内散歩と好きな場所や作品を描く1時間程度のプログラムが定着してきた。附属幼稚園は、園内であらかじめ画像で見たシャガール《路上の花束》を中心に、館内作品を鑑賞した。今年度は、当館のボランティア・スタッフ「カルチャー・サポーター」が、積極的に対応のバックアップをしてくれた。

また、さんさんテレビとの共催で開催した「チームラボー踊るアート展と、学ぶ未来の遊園地ー」には、多くの保育園・幼稚園から来館があり展示会を楽しんだ。

利用施設／春野学園、針木保育園、筆山保育園、白ゆり保育所、フレンド幼稚園、あゆみ保育園、蓮池保育園、高石保育園、もみのき幼稚園、聖泉幼稚園、上街保育園、ぴすた保育園、丑之助学園、おさなごの園、すみれ保育園、みさと幼稚園、わかば保育園、波介保育園、宇佐保育園、北原保育園、天理あかつき保育園、愛聖保育園、みのり保育園、こぼと保育園、山の手保育園、高知大学教育学部附属幼稚園(計26施設)

●成果・課題

土佐市内保育園の来館プログラムは、回を重ねることで、プログラムにまとまりが出てきた。園児が安全に鑑賞できるよう見守ってきたカルチャー・サポーターが、園児の案内役を担うことにより、小グループでの対応が可能になったことは、大きな成果である。これまで、保育園・幼稚園の受入を積極的に行なってこなかったが、展示会の内容によっては、団体利用も見込まれることが分かった。今後、プログラムを検討していきたい。



チームラボの体験型の展示に園児は大喜び



シャガールバッジのクリスマスツリー



カルチャー・サポーターが誘導(附属幼稚園)

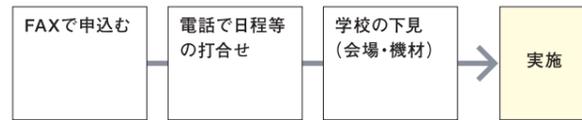


気になる作品を描いてみる

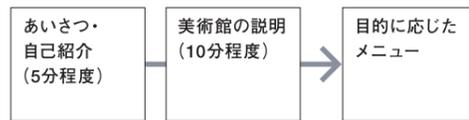
アウトリーチ(美術館→学校)事業

1 出前びじゅつ講座

美術館スタッフが、先生方からの要望をもとに、画像などを用いて美術鑑賞を中心に授業を行う。

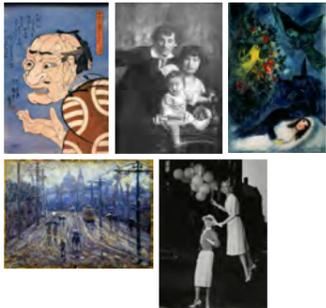


●スケジュール



●来館前の事前学習

春野東小学校の事例

目標	高知県立美術館がどのような場所かを理解する コレクションや開催中の展覧会について理解する 来館時の注意点を学ぶ
進行	画像使用例
導入(約10分)	○自己紹介○美術館の施設、概要の説明(外観、立地、建物) 
展開(約30分)	○収蔵作家や展覧会の説明○作品鑑賞(親しみやすいだまし絵、来館時に鑑賞する作品画像を用いる) 
まとめ(約5分)	美術館来館時のマナーなどについて話し合う

◎利用校

高知市立春野東小学校5年生、高知市立一宮中学校1年生

○図画工作・美術の授業や、キャリア教育の一環等、要望に応じたプログラム

◎本年度の利用なし

●児童・生徒の感想

- ・いろいろ絵を見せてもらったけど、パッと見てわかる絵がなかなかなかったので、びっくりした。
- ・一つの絵からいろいろなことがわかって、絵の人物などが何をしているのかしっかり考えてみるのができた。
- ・写真で見た銅像などを見つけ、楽しみたい。
- ・写真家さんの作品で、トリックでもないのに、光の反射などを使って立体のような作品があった。他の作品もたくさん見て、どういふしかけがあるか見つけてみたい。

●先生の感想

絵画を見てもあまりおもしろくないだろうと感じていたのが、いろいろな見方をしついでいい、自分で感じるように見ればいとわかり、見学に行くのを楽しみにしていた。

●成果・課題

現在、学校からの来館に重点を置いていることから、出前びじゅつ講座の実績は年々減少している。特に今年度は、スタッフの確保や主催事業と日程が重なる等、要望に応えることのできないケースがあった。

一方、来館前の事前学習として行った出前びじゅつ講座は、来館や作品鑑賞の準備として有効に活用してもらうことができた。画像と作品とのイメージのギャップを楽しみながら、新たな発見を見出す生徒の声を聞くことはやりがいにも繋がった。

画像ではなく、もっと鑑賞しやすいツールや、アーティストによるアウトリーチプログラム等、体感や体験を重視した内容を探していきたい。

2 出前クラシック教室

県内の子どもたちに気軽にクラシック音楽に親しんでもらうため、また、県内のアーティストの育成を行うとともに、地域の小中学生等との音楽交流を進めた。



●事業内容

県内を中心に活躍する音楽家が本事業のために結成した「アンサンブル・パレット」(福田香苗/サクソフォーン、中山園/トランペット、川村陽華/ヴァイオリン、杉本成美/ピアノ、岡林綾/フルート)が、小中学校などの教室で行う演奏会。

アニメーション「となりのトトロ」を中心に、楽器の仕組みや曲紹介、子どもたちによる朗読を交えて、音楽を通じたコミュニケーションを楽しみながら行った。

◎利用校

高知県立高知若草養護学校国立高知病院分校全学年、須崎市立浦ノ内中学校全学年、四万十町立十川小学校全学年、高知市立西部中学校1年、芸西村立芸西小学校6年

●児童・生徒の感想

- ・楽器には興味がありましたが、演奏を聴いて、中学校では絶対、吹奏楽部に入ろうと思いました。
- ・聞いたことがある曲もない曲もありましたが、どの曲も綺麗で、心に染み入りました。
- ・初めて目の前で楽器の演奏を聴いて、音の違いもちゃんとわかりました。

●成果・課題

須崎市の教育委員会の協力を得て、校長会で案内していただいたところ、浦ノ内中学校から依頼があった。校長先生をはじめ全校で温かく迎えてくださったことに加え、地域の方々栽培されたお花や果物でのおもてなしを受け、遠くへ出かけて行く活動を続ける中での励みとなった。

また、スケジュールの都合から、高知市内の大きな学校で、久しぶりに複数実施することとなった。いつも1時間目で帰ってしまう生徒が、5時間目の授業を最後まで聞いてくれ、先生もとても喜んでくださった。改めて、音楽の力を実感できた。対象年齢の幅が広がっているため、バリエーションを増やすなどのプログラム対策は必要かと思われる。また、美術や演劇などとのコラボも検討していきたい。



いつもとは違う体育館



子どもたちも参加

3 出前演劇教室

子どもたちに、体の動きの大切さに気づかせるとともにコミュニケーション能力の向上を図るため、出前演劇教室を県内の小学校で行った。



●事業内容

昨年、好評だった「ドン・キホーテ」公演と事前ワークショップ。今年は公演は無く、カンパニーデラシネラのお二人によるマイムを取り入れた、体を動かすワークショップを実施した。

◎利用校

奈半利町立奈半利小学校3~4年生、香美市立大宮小学校4年生

●成果・課題

子どもたちは、目の前でマイムの動きをみて、真似る事で、表情もいきいきとし、ペアを組んだ相手の事を良く観察して、動きを実践していた。先生も一緒になって体を動かすと子どもたちもより真剣に取り組んでいた。

身体を動かすと心を開くのも早いのか、給食時間も質問がとまらないほど、小野寺さんと藤田さんに懐いていた。

お二人の実力があって成り立つプログラムのため、忙しい二人のスケジュール次第となっているが、来年度は、ミニ公演を観てもらう時間を設け、感想文の依頼も検討したい。



動きをまねして



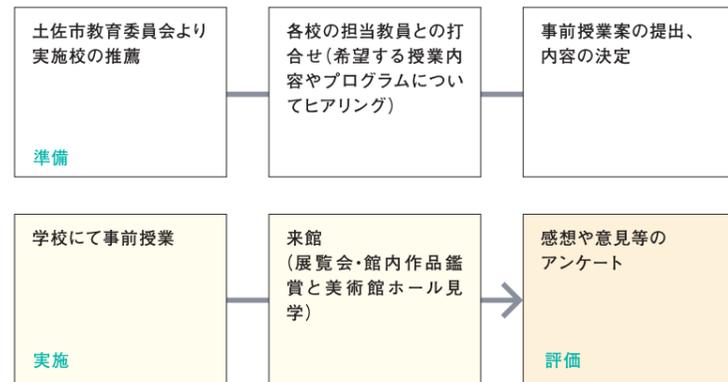
牛乳でキャンバイ

石元泰博コレクションの活用

土佐市スクール・プログラム4年目の取り組み

郷土ゆかりの写真家である石元泰博氏のコレクションを紹介し、作家や作品に親しみを感じてもらおうプログラムとして、石元氏が3歳から18歳までを過ごした土佐市を重点地域と定め、平成26年度より実施してきた。平成27年度より、プログラムの対象を土佐市内の全小学校と定め、事前授業と来館を組み合わせたプログラムとして内容を整えた。翌平成28年度には土佐市教育委員会と高知県立美術館とで連携事業に関する協定を締結し本事業の共同を強め、連携を深めてきた。今年度の実施校は、初年度から引き続き、石元氏の母校である高岡第二小学校3学年13名と、教育委員会からの推薦校である蓮池小学校4学年19名を対象とした。

実施までの流れ



●高知県立美術館と石元泰博コレクション
当館で開催した「石元泰博写真展 1946—2001」展(2001年)を機縁に、高知県は石元氏の生前から逝去した後にかけて、ご本人とご遺族から段階的に作品等の寄贈を受けた。そのコレクションの概要は、プリント34,753枚、ネガフィルム約100,000枚、ポジフィルム約50,000枚、さらに書籍・写真集、カメラ機材や、交流のあった他作家作品等を含み、公立美術館の有する個人コレクションとしては類を見ない質と量を誇る。また、高知県は石元氏より写真作品及び写真フィルムの著作権譲渡も受けている。

●石元泰博フォトセンターについて
石元泰博コレクションを、適切な環境で保存・管理し、継続的な調査・研究を行い、国内外多くの人々が利用できるアーカイブとして、その価値を一層高めるため、2013年に高知県立美術館内に開設。コレクションを管理し研究する「深める」活動、展覧会開催やデータベースサービスなどを通じて「広める」活動と並び、石元氏の人間性や芸術に親しんでもらうための「つなぐ」活動として、本スクール・プログラムの実施等、コレクションの活用と普及に努めている。



石元泰博(1921-2012)について
アメリカ・サンフランシスコ生まれ。3歳のとき両親の故郷・高知県高岡町(現・土佐市)へ戻る。1928年灘・鳴川尋常小学校(現・高岡第二小学校)入学。高知県立高知農業学校(現・高知県立高知農業高等学校)を卒業した1939年、単身渡米するが、間もなく第二次世界大戦がはじまり、収容所生活を余儀なくされる。終戦後、シカゴのインスティテュート・オブ・デザイン(通称、ニュー・バウハウス)にて写真技法のみならず、石元作品の根幹を成す造形感覚の訓練を積む。その後、桂離宮に内在するモダニズムを写真により見出した作品で高い評価を受ける。文化功労者。高知県文化賞受賞。



石元泰博「セルフ・ポートレート」1975年 ©高知県、石元泰博フォトセンター

事前授業

土佐市立高岡第二小学校

石元泰博氏の母校として、平成26年度より継続してプログラムを行っており、児童は全員過去に来館経験がある。授業は来館時に見たものや訪れた場所をスライド画像を交えて振り返り、体験を思い出しながら進化した。石元泰博氏を大先輩の写真家として再度紹介し、来館時に展示している写真作品を数点鑑賞した。授業後半では、講師の写真家・中島健蔵氏より、アフガンボックスカメラを使い、カメラが写るしくみを説明した。その後は生徒と先生を被写体に、アフガンボックスカメラでの撮影体験会を行った。

●内容

11月24日[金]3年生13人、10:45~12:20、45分授業2コマ

テーマ:写真家・石元泰博さんとアフガンボックスカメラの紹介
高知県立美術館について学び、郷土ゆかりの写真家・石元泰博氏とコレクションを知り写真作品の鑑賞ポイントをつかむ。アフガンボックスカメラをとおして、モノが写る仕組みを学ぶ。

講師:写真家・中島健蔵氏

●先生の感想

カメラが写る仕組みをアフガンボックスカメラで学んだだけでなく、人々の暮らしとカメラの役割も学ぶ内容だった。今後の授業とも関連することもあるのではないかな。



スライドを使った説明と、作品の鑑賞



アフガンボックスカメラの説明



「美術館とはどんなところ?」など質問から授業開始

授業内容

目標	●高知県立美術館について(施設の内容、働く人、催し)、石元泰博コレクションを知る ●アフガンボックスカメラの紹介 ●来館時の注意点を学ぶ	
導入 10:45~10:50(5分)	自己紹介、今日の授業の説明	
展開① 10:50~11:00(10分)	●高知県立美術館の紹介(館内の様子、展示室写真、館内展示作品の紹介) ●石元泰博氏と写真コレクションを紹介	美術館外観、展示室の特徴、作品の大きさや素材について、スライドを交えながらイメージが膨らむように説明する
展開② 11:00~11:10(10分)	●アフガンボックスカメラの説明	
展開③ 11:10~12:05(55分)	●アフガンボックスカメラで被撮影体験	
まとめ 12:05~12:20(15分)	●来館時の注意点を伝える	
評価	●高知県立美術館がどんな場所かイメージができる、石元泰博氏について説明できる ●アフガンボックスカメラに親しみ、モノが写るしくみを理解している	

事前授業

土佐市立
蓮池小学校

まずは高知県立美術館の概要を説明。美術館の全景の航空画像や各展示室等のスライド画像を映しながらイメージを掴んでもらい、次に展覧会、コレクション展、収蔵展示作品などの説明を行って、美術館の業務を説明した。一方的な説明とならないように、質問形式で児童と対話しながらの進行に努めた。加えて、美術館内での作品鑑賞マナーも、なぜそのマナーが必要なかを考えてもらいながら説明し、押し付けではなく理解の上での振る舞いとなるよう、児童との対話を深めた。

●内容

11月16日[木]4年生38人、9:40~10:30、50分授業1コマ

テーマ：高知県立美術館と写真家・石元泰博さん

高知県立美術館の施設、コレクション、展覧会等の内容を知り、美術館がどのようなところなのかのイメージを掴む。加えて、土佐市出身の写真家・石元泰博氏のことも学ぶ。

●先生の感想

次回美術館来館機会の参考になった。



スライド画像で分かりやすく説明



会場は1階音楽室



高知県立美術館の空撮画像



歌川国芳のたまし絵「両面相」を紹介

授業内容

目標	●高知県立美術館がどのような場所(施設の内容、働く人、催し)かを理解する ●高知県立美術館のコレクション(シャガール、石元泰博)を知る ●来館時の注意点を学ぶ
導入 9:40~9:50(10分)	自己紹介、今日の授業の説明
展開 9:50~10:20(30分)	●美術館の施設、概要の説明(外観、立地、建物) ●美術館の展示室等の説明 ●世界の名画、たまし絵などの紹介 ●写真家・石元泰博の人となり、作品を説明
まとめ 10:20~10:30(10分)	●美術館来館時のマナーなどについて話し合う
評価	●美術館の施設についてイメージを掴めたか ●美術館職員の業務に関心を持てたか ●各児童が関心を言葉で発するようになったか

11月22日[水]
蓮池小学校
4年生38人

3班にわかれ、各クラスに学芸員1名が引率し、展示室を順番にめぐった。各展示室で展示の概要を説明した後、自由鑑賞時間を設けた。授業で紹介した館内作品を発見し、実見して受けた印象について発言したり、取り上げた作品を中心に展覧会を鑑賞したり、各々のペースや興味の範囲で活動を行った。

●スケジュール

- 9:30 美術館到着、美術館ホールに移動、トイレ休憩。
- 9:40 はじめの挨拶(自己紹介、来館時のマナーを確認)。
- 9:45 班ごとに分かれ、二大コレクション展、シャガール展、石元泰博展、高知の洋画展を鑑賞。
- 11:00 集合、トイレ休憩、まとめ。
- 11:10 美術館発。

●先生の感想

作品の内容が4年生には少し難しかったので、展示作品によって見学時期を決めたり、対象を上級生にすることを検討しても良いと思った。土佐市出身の写真家・石元泰博氏に興味を持ち、もっと知りたいと調べる児童がいて、美術館訪問がいききっかけとなった。



館内作品も鑑賞



二大コレクション展鑑賞中

11月30日[木]
高岡第二小学校
3年生13人

2グループにわかれて各グループを学芸員が引率し、カルチャーサポーターも付添いのもと、館内を巡った。搬入口や防災センターなどのバックヤード見学も含め、作品鑑賞だけでなく美術館滞在を味わう内容となった。

●スケジュール

- 9:30 美術館到着、トイレ休憩、はじめの挨拶(自己紹介、来館時のマナーを確認)。
- 9:45 2グループに分かれ、バックヤード、館内作品、二大コレクション展、シャガール展、石元泰博展、高知の洋画展を鑑賞。
- 11:00 集合、トイレ休憩、まとめ。
- 11:10 美術館発。

●先生の感想

「お気に入りの作品を見つける」など、ただ鑑賞するのではなく、視点をもって鑑賞することができた。児童たちが作品を見る機会は、思ったよりも少ないようなので、見ることが良い刺激になったのでは、と思う。美術館スタッフの児童への接し方が上手になっていた。

●成果・課題

今年度で4年目の実施となった。実施校についてはスムーズに決定できるようになった。個々の授業の組み立て方は例年に倣うところ、新しく取り入れるところ、バランスよく実施できてきたと思う。今後も、美術館や石元泰博作品をはじめとする美術館コレクションに親しめるようなプログラムを、学校と協同して実施していきたい。



石元コレクション展「色とことば」を鑑賞



バックヤードツアーとして作品用エレベーターを体験

教職員対象プログラム

市町村の教育研究会が主催する教職員対象の研修会で、当館のコレクションや鑑賞についてのレクチャーを学芸員が行った。夏休みに当館を会場に開催した高知市教育研究会 図工・美術部会では、開催中のシャガール・コレクション展「オデュセイア[後期]」のギャラリートークを行った。また、中芸地区教育研究会 図工・美術部会では、当館コレクションを用いてゲームを交えながら鑑賞の授業についてお話しさせていただいた。

ティーチャーズ・デイ

当館主催の企画展会期中、小中学校、高等学校、特別支援学校等に勤務する教職員を無料で招待する「ティーチャーズ・デイ」を行った。

●参加者数

展覧会名	利用人数	参加人数
これぞ晩齋！ゴルドマン・コレクション	5月14日(日)	5人
高崎元尚 新作展ー破壊 COLLAPSEー	7月2日(日)	2人
高知県立美術館二大コレクション展 マルク・シャガールー祝祭のパリ 石元泰博写真展ーシカゴ、シカゴ	11月12日(日)	1人
岡上淑子カラー・ジュ展ーはるかな旅	1月21日(日)	1人

●参加者の感想

- 小学生にも本物に出合わせたい。
- 中学生が行きたい、お家の人が連れていきたい、と思う企画をお願いしたい。
- 鑑賞のポイント、楽しみ方を知ることができた。
- 見ているだけでは知ることのできないエピソード等を聞くことができ、高崎さんの人となりがよく分かった。そのような思いで作品を見ると、また違う見方ができて興味深く見る事ができた。
- 作品について、あれこれ解釈したくなるが、トークの中に「言葉を越えた世界」という言葉が出てきて、「なるほど、ARTというのはそういうものなのだろう」とストーンと心に落ちた気がした。
- 学芸員の熱意が伝わり、楽しく拝聴した。

●成果・課題

学校行事や展覧会の内容によって、参加人数に差はあるが、リピーターが少しずつ増えていることを実感。利用しやすく、わかりやすい開催日の設定、参加者の増員が課題である。



平成29年度スクール・プログラム事業実績

来館利用

実施日	学校・学年	来館者(内訳)		
		児童・生徒数(教員)	引率	利用数
4月14日	高知市立介良中学校1年生	92	8	100
4月28日	日高村佐川町立加茂中学校1~3年生	44	13	57
5月7日	明徳義塾高等学校マンガ・コンテンツ研究部	20	3	23
5月16日	いの町立伊野南中学校1~3年生	74	14	88
5月16日	土佐塾高等学校1年生	28	1	29
5月17日	土佐塾高等学校1年生	32	1	33
5月18日	土佐塾高等学校1年生	17	1	18
8月10日	宿毛市立片島中学校	13	1	14
9月1日	高知高等学院1年生	35	3	38
9月2日	小豆島市立小豆島中学校	26	3	29
9月12日	高知市教育研究所教育支援センター	11	12	23
9月19日	高知市立潮江南小学校 みなみ1	4	1	5
9月22日	高知市立一宮中学校 特別支援学級	18	4	22
9月24日	明徳義塾中学・高等学校	19	2	21
10月4日	高知市立大津中学校1~3年生	247	20	267
11月17日	高知市立春野東小学校5年生	99	4	103
11月21日	土佐市立北原小学校4~6年生	30	5	35
11月22日	土佐市立蓮池小学校4年生	38	4	42
11月30日	土佐市立高岡第二小学校3年生	13	3	16
12月1日	清和女子高等学校3年生	13	3	16
12月15日	田野町立田野中学校3年生	12	3	15
1月25日	高知市立一宮中学校1年生	188	13	201
2月14日	高知市立鏡小学校1・2年生	14	2	16
2月14日	高知県立若草養護学校 中学部	6	6	12
2月15日	高知市教育研究所教育支援センター	22	19	41
2月28日	安芸市立下山小学校全校	12	9	21
3月2日	土佐清水市立中浜小学校全校	12	8	20
3月2日	安田町立安田小学校3・4年生	26	2	28
3月2日	清和女子高等学校2年生	25	4	29
3月3日	四万十町立窪川中学校 美術部	8	1	9
合計		1,198	173	1,371

- ミュージアムバス・ツアー
- 石元泰博コレクション活用
- チームラボ

教職員の研修

実施日	学校名	利用数
8月3日	高知市教育研究会 図工・美術部会	80
1月24日	中芸地区教育研究会 図工・美術部会	8
合計		88

保育・幼稚園来館

実施日	保育園名	児童・生徒数	引率	合計
8月26日	認定こども園 春野学園	20	10	30
9月6日	針木保育園	45	7	52
9月7日	筆山保育園	18	3	21
9月12日	白ゆり保育所	11	3	14
9月12日	フレンド幼稚園	26	4	30
9月12日	あゆみ保育園	70	12	82
9月13日	土佐市蓮池、高石保育園	28	6	34
9月14日	もみのき幼稚園	34	8	42
9月14日	聖泉幼稚園	16	4	20
9月19日	上街保育園	23	5	28
9月20日	びすた保育園	15	4	19
9月20日	丑之助学園	45	5	50
9月21日	おさなごの園	21	5	26
9月21日	土佐市立高石、すみれ保育園	20	5	25
9月21日	土佐市立みさと幼稚園	30	7	37
9月22日	土佐市立わかば保育園	23	3	26
12月11日	土佐市立波介、北原、天理あかつき保育園	25	5	30
12月12日	土佐市立愛聖保育園	23	4	27
12月13日	土佐市立高石、すみれ保育園	19	4	23
12月14日	土佐市立蓮池保育園	23	3	26
12月15日	土佐市立宇佐、みのり保育園	27	4	31
12月18日	土佐市立こぼと、山の手保育園	20	6	26
12月19日	土佐市立わかば保育園	24	4	28
1月15日	高知大学教育学部附属幼稚園	34	5	39
1月16日	土佐市立山の手保育園	23	4	27
合計		663	130	793

出前びじゅつ講座

実施日	学校名	利用数
11月15日	高知市立春野東小学校 5年生	99
11月16日	土佐市立蓮池小学校 4年生	38
11月24日	土佐市立高岡第二小学校 3年生	13
1月22日	高知市立一宮中学校 1年生	180
合計		330

出前クラシック教室

実施日	学校名	参加数
6月29日	高知県立高知若草養護学校 国立高知病院分校全学年	62
1月24日	須崎市立浦ノ内中学校全学年	24
1月25日	四万十町立十川小学校4~6年生	29
1月25日	四万十町立十川小学校1~3年生	22
2月1日	高知市立西部中学校1年生	21
2月1日	高知市立西部中学校1年生	26
2月7日	高知市立西部中学校1年生	20
2月7日	高知市立西部中学校1年生	28
2月8日	高知市立西部中学校1年生	18
2月8日	高知市立西部中学校1年生	21
2月14日	芸西村立芸西小学校6年生	32
合計		303

出前演劇教室

実施日	学校名	参加数
1月18日	奈半利町立奈半利小学校3・4年生	34
1月19日	香美市立大宮小学校4年生	24
合計		58

平成29年度 高知県立美術館 スクール・プログラム報告書

編集 : 高知県立美術館 学芸課 長山美緒、茂木恵美子、企画事業課 山脇有美
デザイン : 有限会社ナノ・クリエイティブ

発行 : 高知県立美術館 〒781-8123 高知市高須353-2

発行日 : 平成30(2018)年3月31日